

交換留学レポート

留学先国・地域	中国	留学先大学名	北京語言大学
高知大学での所属	人文社会科学部人文社会科 学科国際社会コース	留学先での所属	汉语进修学院
留学期間	2018/3/5	～	2018/7/15

学習に関すること

私は北京語言大学で初級中国語コースの授業を受けた。入学の手続きの後に行われた学力テストでクラスが振り分けられた。初め私は初級クラスの中で一番上のクラスだった。だが実際に授業を受けてみると、私のレベルに合っていないと考え、一つ下のクラスに移動した。私は大学から中国語を学び始めたため、中国人の先生が言っていることが聞き取れずに過ごすことが多かった。しかし学習し始めて一か月を過ぎたころ、先生が話している内容を理解できるようになり、中国語で受け答えができるようになった。授業は朝 8 時半から 12 時半まで行われた。そのため、午後の時間の使い方がとても重要だった。学習し始めたころは、授業が終わった後も、すぐ宿題や復習、予習をしおり、勉強だけで一日が終わっていくことが多かった。徐々に授業のスピードに慣れてくると、午後の時間の使い方を変えることができた。町にでて地元の人のお話スピードに触れると、私はまだまだ聞き取れないことばかりだと実感できた。多国籍のメンバーとバドミントンを週 3～4 回程度するようになり、中国語を使う交友関係が増えた。そのため、私のスピーキングとヒアリングの能力が向上した。また、中国人のランゲージパートナーと週に一回会い、授業でわからなかったところを教えあったり、観光地へ遊びに行ったりした。私のコースでは中国人がクラスにいないため、自分から積極的に行動しなければ中国人の友人を得る機会がなかった。中国人の友人は同年代のため、友人から若者言葉や今中国で流行していることなどを知ることができた。さらに私は北京以外に天津と上海に行った。そこでは授業で習った生活用語やフレーズを実践していった。自分の発音が伝わるか、タクシードライバーと会話を続けることができるかなど、授業で習ったことを実際に行ってみて、良かったところ・悪かったところを知ることができた。テスト勉強は、先生が配ってくれたプリントを中心に文法や単語を覚えていった。私は普段から復習しやすいノートづくりを心がけており、予習に力をいれていた。そのため、テストの直前にわからないことがあまりなかった。このようにコツコツ取り組んでいたからこそ、留学期間中に HSK4 級を取得することができたと思う。今の私のレベルは 5 級取得も可能なので、引き続き中国語を勉強して資格取得したい。

生活に関すること

私は中国の北京語言大学に 1 学期間留学した。地元友人が北京語言大学に本科生として通っているため、わからないことは友人を頼るようしていた。日本から北京までの飛行機が遅延したため、予定より遅れて大学に到着した。大学の寮は 24 時間出入りが自由にでき、管理員も常にいたので寮の手続きはすぐに済ませることができた。寮は外国人寮で、中国人以外の外国人が住んでいた。男女同じ寮なの

で、隣の部屋が異性の場合や共同の洗濯機に異性の衣服を見ることもあった。二人一部屋で、ベッドは縦一列に並んでいた。冷蔵庫やテレビ、電子ポットは部屋に備え付けられていた。収納スペースも十分あり、以前住んでいた学生が置いていったハンガーや洗濯物干しなどを使うこともできた。部屋にはシャワーとトイレがついており、いつでも自由に使うことができた。共同スペースのキッチンには電子レンジやIHなどが完備されており、自炊することも可能だった。学校のWi-Fiはあるが、お金を支払わなければいけない。中国は食に関する物価が安いので、食堂や外食でも安い値段で食事をする事ができる。レストランは飲食の持ち込みが許されているため、他店の商品を飲み食いすることができる。食器や持ち込んだ物のゴミはテーブルの上に置いたまま店を出てもよい。警備が厳しいため、地下鉄に乗るときに持ち物検査をされる。スプレー缶の日焼け止めは地下鉄に持ち込むことはできない。また、地下鉄やバスには時刻表がないためいつ来るかがわからない。しかし便数が多いので心配しなくてもよい。食品は比較的安いが、洋服や小物などが高いので、私は通販サイトで服を買っていた。通販サイトは安いが、サイズが合わなかったり、雑なつくりになっていることが多くあるので利用する際は注意した方がよい。さらに、中国は携帯社会なので、支払う際多くの方はウィチャットペイかアリペイというアプリのお財布携帯を使っている。私自信半年間しか中国にいないにも関わらず、銀行を無料で開設してお財布携帯の機能を使っていた。友人同士で割り勘をするときはとても便利なので、ぜひ利用してほしい。ワイマイという出前アプリを使い、ご飯を家に届けてもらうサービスを受ける場合でもお財布携帯での支払いになる。そのため、上記2つどちらかのアプリを使うと、より便利で楽しい留学生活が送れると思う。